



笹山縄文遺跡が埋まる丘陵地より信濃川越しに東頸城丘陵を望む 2010. 11. 17.

日本有数の豪雪地帯 東を魚沼丘陵 西を東頸城丘陵に挟まれた中央の十日町盆地を信州から信濃川が南北に流れ下る。その魚沼丘陵に沿う信濃川河岸段丘の上に 縄文人が豊かな縄文の集落「笹山遺跡」を作り、中部縄文文化を代表する「火焰土器」を育んだ。

きっと 集落からは 信濃川や上信越の山が見晴らせる素晴らしい丘に違いない。

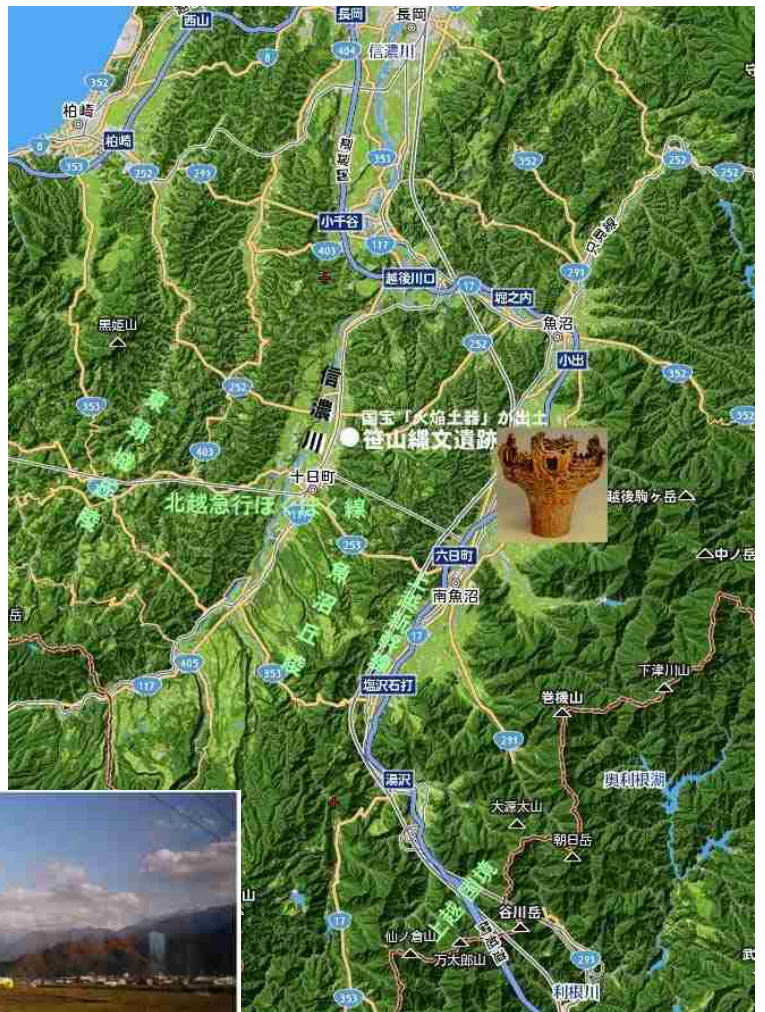
また、十日町は日本有数の豪雪地帯冬へ向かう今 どんな暮らしが見られるかも楽しみ。

一度行きたかった十日町。

現在は意外にも東京から2時間足らずで行ける。

上越新幹線越後湯沢から北越急行が魚沼丘陵をトンネルで横切り、関西で抱く豪雪の山深い郷のイメージはもはやどこにもない。

東京での集まりの翌日 11月17日上越新幹線で行ってきました。



上越線 車窓から 越後三山 2010. 11. 17.

雨まじりの曇天の東京から上越国境を超えると「そこは雪国」ならぬ 快晴の空をバックに麓を紅葉に彩られ 頭に雪を戴く越後の山並みがすぐそこ。

越後湯沢で待ち受けた北越急行で魚沼丘陵の山腹をまっすぐ突き抜ければもう十日町。

細長く伸びる魚沼丘陵と東頸城丘陵に両サイドを挟まれた街であるが、明るい街 関西で抱いていた豪雪に見舞われる奥深い山郷と

のイメージは一気に吹っ飛んだ。

やっぱり 来てみないとわからないですねえ・・・。

時期的に豪雪の面影はないが、立ち並ぶ家並がどことなく違う。垂直な3階建てというか出っ張りのない3階建。



雪が覆い尽くす隠す1階部はコンクリートでしっかり雪を防御。木々の雪囲いも雪に押しつぶされぬようすっぽり板で囲むのである。こんな風景は初めて 関西人には雪の凄さは想像できぬ世界 やっぱすごいなあ・・と。



十日町から北 日本海側を眺める 左東頸城丘陵 右 魚沼丘陵 2010.11.17.



豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 新しい家の一階部は例外なくコンクリートで防御。

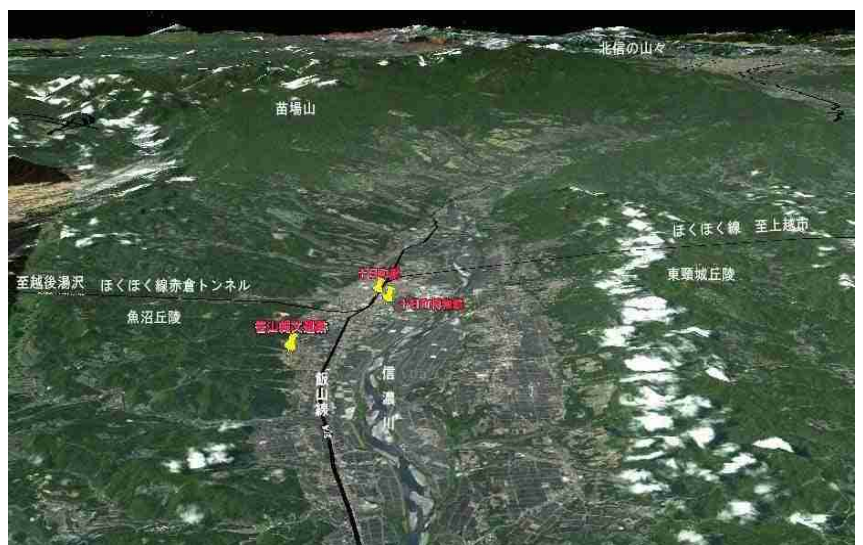
木々には 板で木々をすっぽり覆う雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010.11.17.

縄文人が集落を作り、素晴らしい火焰土器を育んだ丘陵地に登ると なだらかな緑の丘陵に挟まれた平地をゆったりと信州から新潟へ流れ下る信濃川が見える。ゆったりとした穏やかな空間が広がっていました。

「冬の雪の凄さと雪のないときの穏やかな景色」 十日町が見せる両極端の景色

こんな景色の中で あふれ出るエネルギーを感じさせる火焰土器が育まれたと。

十日町の縄文の村 笹山遺跡の丘に座って眼前に広がる里山とは またちょっと違った穏やかな空間をしばし楽しんで帰りました



十日町の北側から信州側 二つの丘陵地に挟まれた十日町を眺める

笹山縄文遺跡から出土した国宝の火焰土器とこの火焰土器を育んだ十日町の秋の景色を写真アルバムにしました。

日本有数の豪雪地帯 東 魚沼丘陵 西 東頸城丘陵に挟まれた中央の十日町盆地を信濃川が南北に流れ下る

その魚沼丘陵にそう信濃川河岸段丘の上に 縄文人が豊かな縄文の集落「笹山遺跡」を作り、中部縄文文化を代表する「火焰土器」を育んだ。きっと 集落からは 信濃川や上信越の山が見晴らせる素晴らしい丘に違いない。また、十日町は日本有数の豪雪地帯 冬へ向かう今 どんな暮らしが見られるのかも楽しみ。

東京での集まりの翌日 11月17日上越新幹線で行ってきました。



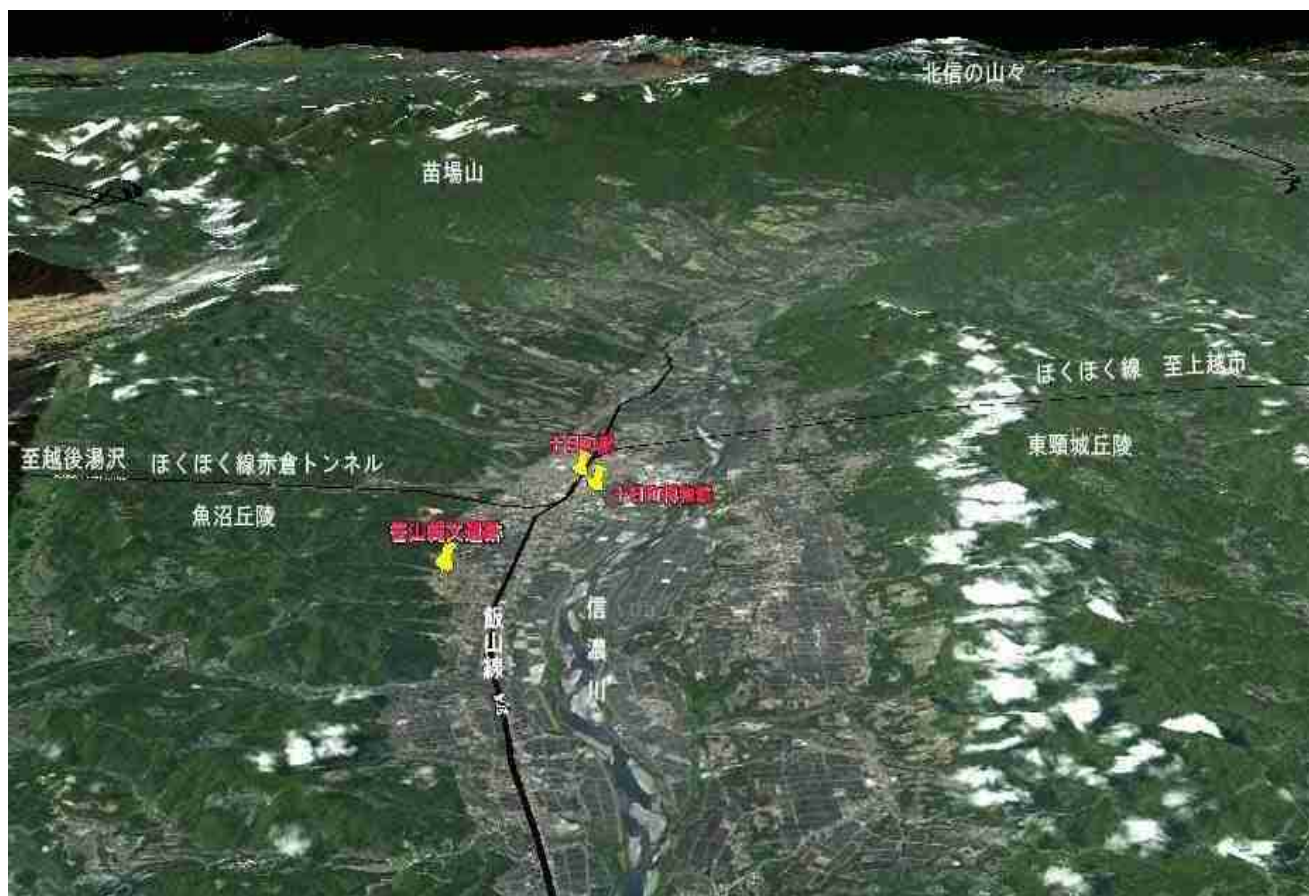
豪雪対策が取られている十日町の街並と家々の作り

新築の家では豪雪で埋まる一階部分は雪圧を阻むためコンクリートで、窓には板がはめ込める。また、古い家もしっかりとした高い土台の上に建てられている。そして 雪で家が押しつぶされぬよう、でっぱりがない垂直でシンプルな縦長構造。また、雪に埋まる樹木にもすべて、板で雪埋。いふ それぞれの家の周りで 冬への備えが 急ピッチで進められていました。

豪雪地帯の暮らしの凄さです。もちろん、道路には除雪装置が埋められていた。

2m近く雪がすべてを埋め尽くす暮らしへの知恵。やっぱり、すごいと、雪の積もらぬ関西では見られない景色でした。

この豊かな盆地の丘陵地(信濃川の河岸段丘)の上で 縄文人たちは 火焰土器など素晴らしい縄文文化を築かせた。そこは きっと見晴らしが良く 素晴らしい丘に違いないと。

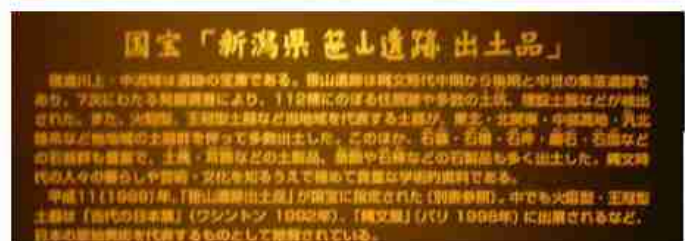


十日町の北側から 信州側 二つの丘陵に挟まれた十日町を眺める [google earth より]



十日町駅から 北勢へ少し歩いた市街地のはずれにある十日町博物館

国宝「火焰土器」など笹山縄文遺跡からの出土品が展示されている 2010.11.17.



新潟県十日町市 笹山縄文遺跡出土 国宝 火焰土器

2010. 11. 17. 十日町博物館で

火焰土器が出土した笹山遺跡



笹山縄文遺跡が埋まる丘陵地より 信濃川越しに東頸城丘陵を望む 2010.11.17. 高台の野球場より西側の眺望



笹山縄文遺跡が眠る丘陵地 笹山縄文館の東側丘陵地上方より 2010. 11. 17.

笹山縄文遺跡の出土品

笹山じょうもん館案内板および十日町博物館資料より

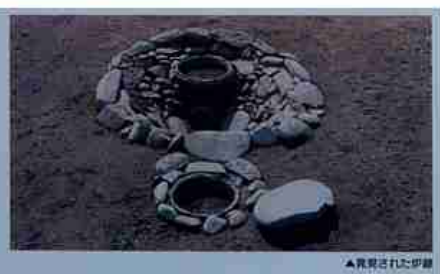
国宝に指定された笹山遺跡出土品

平成11年（1999）6月7日、火焔型土器など深鉢形土器57点をはじめとする笹山遺跡出土品計928点が国宝に指定されました。新潟県にとって初の国宝指定です。また、縄文時代の遺物では長野県茅野市棚田遺跡出土の土器（縄文のヴィーナス）について2番目、縄文土器では第1号の指定となります。

火焔型土器は縄文時代を代表する土器のひとつで、新潟県内でも中魚沼郡津南町から長野市にかけての信濃川上・中流域で数多く発見されています。国宝に指定された深鉢形土器57点のうち火焔型土器は14点、王冠型土器は3点です。火焔型土器の中でも指定番号1の土器は、平成4年（1992）に「古代の日本史」（ワシントンD.C.）、平成10年（1998）には「縄文展」（パリ）、そして、平成13年（2001）には「神道展～古代日本の聖なる美術～」（ロンドン）に出展されるなど、日本の原始美術を代表する土器として世界的に顕赫されました。また、国内では小・中学校の歴史教科書などで取り上げられています。

国宝 笹山遺跡出土品とは

- 平成11年6月7日、国宝に指定されました。新潟県にとって初の国宝指定で、縄文土器では国内初の国宝という快挙です。
- 土器は、火焔型、王冠型をはじめとする深鉢形土器が57点あります。ほかに、浅鉢形土器が5点、小型土器が2点あります。
- 石器は、石製貝、石工貝、石製貝がほとんどそろっていて、数量ともに豊富です。
- 土製品や石製品などから、縄文人の生活やまつりのようすを知ることができます。



火焰型土器



高さ 46.5cm
最大径 43.8cm



高さ 34.5cm
最大径 33.8cm



高さ 57.9cm
最大径 53.3cm



高さ 28.2cm
最大径 27.4cm



高さ 27.2cm
最大径 28.8cm



世山縄文遺跡が埋まる丘陵地より 信濃川越しに東頭城丘陵を望む 2010.11.17. 高台の野球場より西側の眺望



笹山縄文遺跡が眠る笹山縄文館 周辺 2010. 11. 17.

笹山縄文館がある場所を広場として馬蹄形に竪穴住居が取り囲む集落だったようだ
住居跡はどれも現在の道路の下に埋まっているようだ



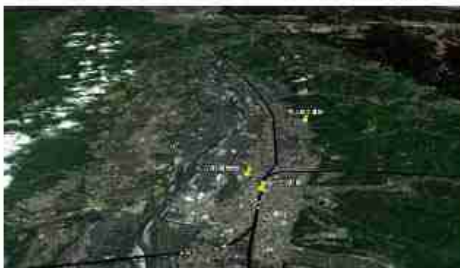
笹山縄文遺跡が眠る笹山縄文館 周辺 2010. 11. 17.



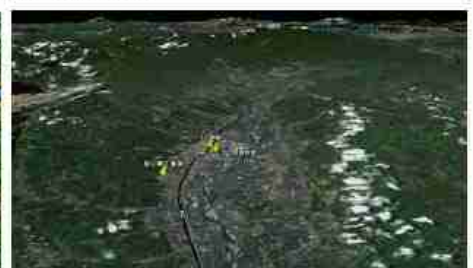
笹山縄文遺跡周辺 この道路の下に竪穴住居群が眠っているようだ 2010. 11. 17.



十日町から北 日本海側を眺める 左東頸城丘陵 右 魚沼丘陵 2010. 11. 17.



南側から眺めた十日町盆地



北側から眺めた十日町盆地



十日町駅より 南 信州側を眺める



十日町駅より 北 新潟側を眺める



豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 木々は雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010. 11. 17.



豪雪をさけるため、高い石組土台の上に家 窓には横板 新しい家の一階部は例外なくコンクリートで防御。

木々には 板で木々をすっぽり覆う雪囲い 豪雪準備が進む晩秋 十日町の民家 2010.11.17.

【上越国境をトンネルでくくると越後国 頭に雪を戴いた越後三山が目の前に見えてくる 2010. 11. 17. 】



上越線 車窓から 越後三山 2010.11.17.



雪を戴く八海山から越後三山の峰々



巻機山山塊



越後湯沢駅周辺の山々の紅葉



越後湯沢駅より 上越国境の山々

